



鈴鹿市立加佐登小学校 学校運営協議会だより

第2号

令和8年7月6日発行
学校運営協議会事務局

6月25日(木)に第2回学校運営協議会が開催されました。当日は最初に授業の様子を各委員が参観しました。その後、授業や校内の様子について意見交流等が行われました。

第2回 学校運営協議会【6月24日(木)開催】(報告)

I 授業参観後の学校運営協議会委員の感想(主なもの)

- ・トイレのスリッパが全体的にきれいに並べられており、良い状態であった。掲示物や展示物も整然としており、教職員の意識の高さが伺える。低学年には難しいかもしれないが、誰もいないトイレの電気を消す習慣をつけられるとさらによい。
- ・5年生の書写の授業で、震災などの時事問題を防災と絡めて話しており、子どもたちに分かりやすい指導であった。1年生が図書室において、各自が本を選ぶ時間を設けていることについても、早期の読書習慣の形成に寄与しているであろう。
- ・6年生におけるパソコン活用能力は高く、処理が非常に速い子もいるが、習熟度に個人差がある点には留意が必要である。



<質疑応答>

Q. 5年生教室近くにある「学びの教室」は何のための部屋か？

A. 「通級指導教室」である。発達上の課題に対し、週1回程度のソーシャルスキルトレーニングを1対1または少人数で行っている。昨年度より本校に設置され、2年目となる。担当教員は牧田小学校と兼務(月・水・金曜日は、加佐登小学校)しているが、現在は通級指導のニーズが高まっており、予算や定員の関係で調整が必要な状況となっている。

Q. 水泳指導の外部施設の利用の様子は？

A. 教員の負担軽減、専門スタッフによる質の高い指導(3~4グループ編成)、および安全確保(複数体制の監視)を目的としている。施設までのバス送迎費用は委託先に含まれており、学校側の負担はない。天候や水温に左右されず、常に適温で実施できる。

Q. 高学年が午後の水泳授業になるのは何故か？

A. 低学年は下校時間が早いため、午前に設定し、高学年は6限目まで授業があるため、午後に設定している。バスの送迎時間や給食時間の兼ね合いから、このスケジュールと

なっている。泳いだ後は体力を消耗し、帰校後の授業で疲れが見えている子もいるが、全体としては非常に好評である。現在設置されている学校プールに水を張っておく必要がなくなったため、今夏以降、プール内の水を抜く予定である。将来的にプールを解体し、現在不足している学校駐車場として整備していくことを、市に要望していきたい。

Q. ウサギ小屋周辺の雑草等が気になった。管理体制はどうなっているのか？

A. 用地の境界が複雑な部分もあるが、学校用地の管理は課題である。予算や人手が限られているため、ボランティアが草を刈り、PTAが草を集める等の連携を模索している。

3 学校関係者評価（※）について

今年度は「学力向上・授業改善」「長期欠席対策」「非認知能力」「地域連携」の他に、「学校における働き方改革」「特別支援教育・生徒指導・人権教育」を重点項目として進めていき、12月頃に成果と課題をまとめて、各委員に評価を依頼する予定である。

（※）学校関係者評価とは？

学校は1年間の学校教育活動を振り返り、それを基にして次年度の学校運営方針をたてています。そこでは、毎年2学期末に実施する児童及び保護者アンケートの結果、そして、学校運営協議会委員の御意見（学校関係者評価に記載）が反映されています。

4 市教育委員会事務局教育支援課コミュニティ・スクールアドバイザーより

- ・1年生から6年生まで非常に落ち着いた雰囲気で学校生活を送っている。1年生が静かに整列して図書室に移動する姿や、6年生がICT活用の授業で真剣に教員の話聞き、誠実に課題に取り組んでいる姿が非常に素晴らしい。
- ・校内の掲示物や展示物がきれいに整頓されており、剥がれや歪みなどが無い。
これは教職員の意識の高さの表れであり、良好な学習環境の維持につながっている。
- ・現在、病気休暇による欠員が出ている厳しい状況だが、校長・教頭を含めたチーム全体でカバーし合っている姿を高く評価する。
- ・水泳指導の外部施設利用は、鈴鹿市では令和3年度より始まった。児童にとって有益だけでなく、教員にとってもプロの指導法を学ぶ貴重な機会となっている。
教員の負担軽減と専門的な指導の継続のため、今後も積極的に活用してほしい。
- ・除草作業については、広い敷地の管理は全国的な課題であるが、ボランティアが草を刈り、PTAがそれを拾うといった役割分担を明確にすることで、限られた人出でも効果的な環境整備もできるかもしれないので、ご検討頂ければと考える。

※ 次回（第3回）の学校運営協議会は、10月27日（火）の午後に開催されます。